

名古屋セントラルガーデン

地下鉄の池下駅から北へ数分のところに「名古屋セントラルガーデン」が、この4月にオープンした。ここは40数年前に住んだことがある国鉄「高見町官舎(アパート)」の跡地であり、JR東海と三菱地所などによる再開発地域である。

千種駅に近い千種本町にあった古い木造の「鉄道官舎」から、この鉄筋のアパートに移ったのが小学5年頃だった。ベランダがついた2DKほどの「団地暮らし」を喜んだ記憶がある。わが家は4階であり、まだ高い建物が少なかったので眺めが良かった。ベランダで夜店で買ったひよこを飼った記憶がある(卵を期待して)。兄貴と「鶏は空を飛ぶか」と4階から実験?をしたこともある。3年間ここで過ごして飛騨高山に移った。

「名古屋セントラルガーデン」は広々とした敷地に、豪華な高層マンションが建っている。道路や街路もきちんと整備され、駐車スペースも多くとられている。「道から始まる街づくり」をコンセプトにしたという。



有名なレストランや高級スーパーなどの店舗が併設されており、新しい「まち」「ガーデン」が誕生したようだ。高級感あふれる佇まいは、「元気なごや」を象徴するような感じだ。ここに立っていると40数年前のこと、国鉄からJRへ、そして「都市再生」へと時代の移り変わりを考えさせられる。

(2007年7月5日 記)